

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18040	1	前期	必修	1	15
授業科目名 (英文)	医学・医療概論 (Outline of Medicine and Healthcare)				
担当教員名	木村哲／石原照夫／小西敏郎／坂本すが ◎佐々木美奈子／渡會睦子／伊藤美千代				
授業の概要及び到達目標					
<p>概要</p> <p>近年の医学および医療技術の目覚ましい進歩は、医療ニーズ・医療環境の大きな変化とあいまって、従来の医学・医療に新たな変革と秩序の確立を求めている。医学とは何か、生とは何か、医学の目指すもの等、保健、医療、福祉、栄養と、医療に従事するものとして、医学の基礎知識および最新情報を学ぶ。</p> <p>また、医療の概要をその仕組みの視点から学び、専門職者として医療における課題を達成していく基盤となる考え方と方法論を理解する。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会において医療が果たしてきた役割と今後のあるべき将来像を理解できる。 ・社会における医療の現状および課題を、看護、情報、栄養の視点から理解するとともに、課題を達成するために専門職の果たす役割について理解できる。 ・医療を仕組みの視点から理解し、この仕組みと課題達成との関連を理解できる。 					
準備学習等					
5回からのグループワークにあたって事前に課題を提示するので、取り組んで下さい。日頃から、新聞等により医療をめぐる社会的課題について関心をもち、情報収集しておくことを期待します。					
成績評価の方法	評価は授業への参加状況（70%）、レポート（30%）によって行います。				
テキスト					
参考図書	「医療情報コミュニケーター概論」（小林寛伊、大久保憲編：幸書房）※その他、授業内で紹介します。				

備 考	<p>「医療のコラボレーション教育」や「専門職の教育」を受ける上での基盤となる科目である。</p> <p>時間割は変則となるので、掲示に注意すること。</p> <p>下記第8回目の授業時に実施するレポートについて、添削後返却しますので、以降の振り返り学修に活用する等よく復習した上で試験に望んでください。</p> <p>講義内容に関する質問がある場合、第1回～第4回は授業終了後に受付けます。第5回以降については看護学科「オフィスアワー」の項を参照ください。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。</p>
授 業 計 画	
<p>第1回:はじめに</p> <p style="padding-left: 40px;">医療の役割と将来像／講義</p>	<p>(渡會・佐々木・伊藤)</p> <p>(木村)</p>
<p>第2回:医療の現状と課題①／講義</p>	<p>(石原)</p>
<p>第3回:医療の現状と課題②／講義</p>	<p>(小西)</p>
<p>第4回:医療の現状と課題③／講義</p> <p style="padding-left: 40px;">看護の分野を中心に</p>	<p>(坂本)</p>
<p>第5回:保健医療の対象者の理解①／演習</p> <p style="padding-left: 40px;">課題の理解</p>	<p>(渡會・佐々木・伊藤)</p>
<p>第6回:保健医療の対象者の理解②／演習</p> <p style="padding-left: 40px;">対象者の生活・考え方の理解</p>	<p>(渡會・佐々木・伊藤)</p>
<p>第7回:保健医療の対象者の理解③／演習</p> <p style="padding-left: 40px;">サービスの利用状況とニーズの理解</p>	<p>(渡會・佐々木・伊藤)</p>
<p>第8回:保健医療の対象者の理解④／演習</p> <p style="padding-left: 40px;">学びの共有 (発表)</p> <p style="padding-left: 40px;">総括</p>	<p>(渡會・佐々木・伊藤)</p>